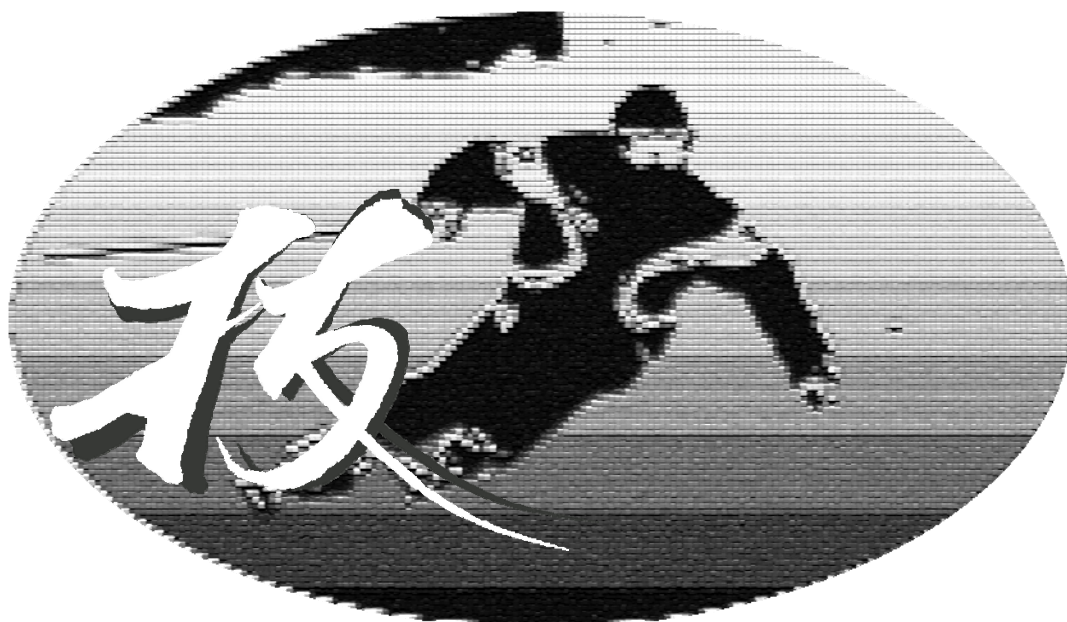


第1回テクニカルスキーコンテスト 兼全日本スキー技術選手権大会全国予選会



開催要項



【主催】 財団法人全日本スキー連盟

【主管】 財団法人長野県スキー連盟・白馬村スキークラブ

【後援】 白馬村・八方尾根観光協会

【会期】 2008年2月29日(金)～3月2日(日)

【会場】 長野県・白馬八方尾根スキー場

平成19年2月20日作成

1, 目的

スキーヤーの自由な表現から生まれるスキー技術の“巧さ”を競い合います。この大会は、技術選出場者の強化と参加者数の拡大を図ることを目的としています。

2, コースプロフィール in HAKUBA HAPPO-ONE

- | | | |
|-------------|------------------|--------------------|
| ● 予選(大会2日目) | 2008年3月1日(土) | 9:00スタート |
| ① 大回り | 総合斜面・ノーマルパック | ウサギ平ゲレンデ(正面コース) |
| ② 小回り | 総合斜面・ノーマルパック | ウサギ平ゲレンデ(新コース) |
| ③ 大回り | 中急または急斜面・ハードパック | 国際第一ゲレンデ(オリンピック I) |
| ● 決勝(大会3日目) | 2008年3月2日(日) | 9:00スタート |
| ④ 小回り | 中急または急斜面・ハードパック | 国際第一ゲレンデ(オリンピック I) |
| ⑤ フリー | 総合斜面・ノーマルパック | ウスバゲレンデ |
| ⑥ 小回り | 中急または急斜面・ノーマルパック | 名木山ゲレンデ(大壁) |



※競技種目内容及び使用斜面については、天候・斜面状況により変更する場合がございます。

3, 種目と展望

● 予選

大回り 総合斜面・ノーマルパック (ウサギ平ゲレンデ 正面コース)

八方尾根を代表するコブ斜面であるウサギ平ゲレンデを圧雪し、
ハイスピードを争う競技バーンとして使用する。

豪快なロングターンを中心に、急斜面をどのように攻略して演技に結びつけるかが見所。
スピードがのってきた後半、恐怖心との戦いを目の当たりできる種目となる。

小回り 総合斜面・ノーマルパック (ウサギ平ゲレンデ 新コース)

初めて技術系競技に使用されるコースである。通称ウサギ平新コース。
緩斜面から急斜面に斜度変化し、八方尾根スキー場の中でもかなりの難易度の高い斜面である。
ギャラリーは対斜面で観戦でき、「スキーの動き」や「選手の動き」など、急斜面ショートターンの
魅力を味わうことができる。

大回り 中急または急斜面・ハードパック (国際第一ゲレンデ オリンピック I)

ハードパックされたすり鉢状の急斜面を、豪快なロングターンで滑りきる競技種目。
かなりの迫力ある種目となります。

見た目よりも圧迫感のある急斜面でのパフォーマンスは恐怖心との戦いでもある。
心身ともに鍛えられた選手の心情の変化が、技術差に現れやすい種目となることでしょう。

● 決勝

小回り 中急または急斜面・ハードパック (国際第一ゲレンデ オリンピック I)

ハードパックされた急斜面、またロングコースでもある国際第一ゲレンデでの小回り。
徐々に変化していく斜面を、いかなる戦略で攻略し、ミスなく滑りきるかがポイントになります。
サイドポジションからの観戦も可能で、間近で選手の滑りを見ることができます。

フリー 総合斜面・ノーマルパック (ウスバゲレンデ)

八方尾根で開催される全日本スキー技術選手権大会の代表的な斜面であるウスバ。
斜度変化やクニックなどの状況への対応能力、そして、選手たちのコースマネジメントや
技術チョイスなど、さまざまなパターンの滑りを見ることが出来る種目です。
時間とともに変化する雪質への対応も必見。選手の総合的な技術レベルがジャッジされる種目です。

小回り 中急または急斜面・ノーマルパック (名木山ゲレンデ 大壁)

かなりの急斜面、そして、一瞬のミスが致命的になる名木山大壁。
この斜面でのショートターン種目では、選手たちの集中したパフォーマンスに魅了されることでしょう。
短いコースならではの、緊迫した雰囲気をお楽しみください。

4, 開催要項

- 【主催】 財団法人全日本スキー連盟
- 【主管】 財団法人長野県スキー連盟・白馬村スキークラブ
- 【後援】 白馬村・八方尾根観光協会
- 【会期】 2008年2月29日(金)～3月2日(日)
- 【会場】 長野県・白馬八方尾根スキー場
- 【本部宿舎】 白馬 ホテルヴァイサーホフ八平
〒399-9301 長野県北安曇郡白馬村北城八方 5265
TEL 0261-72-2102 FAX 0261-72-5270
- 【現地事務局】 大会実行員会事務局
開設:2008年2月4日(月)
〒399-9301 長野県北安曇郡白馬村北城 3901
白馬八方尾根スキースクール内 1F
TEL 0261-72-2126 FAX 0261-72-6659
- 【競技本部】 開設:2008年2月18日(月)
〒399-9301 長野県北安曇郡白馬村北城
白馬八方尾根スキースクール内 3F
TEL 090-2413-6789 FAX 0261-72-6659
- 【大会日程】
- 2月28日(木)
- 10:00 事前受付開始(常時受付) (競技本部)
マテリアルチェック受付開始 (競技本部)
- 第1日目 2月29日(金)
- 15:00 組織委員会 (本部宿舎)
16:00 競技役員ミーティング (本部宿舎)
17:30 開会式 (八方文化会館アリーナ)
18:00 選手会 (八方文化会館アリーナ)
- 第2日目 3月1日(土) (予選)
- 9:00 競技(3種目)
17:30 成績発表・ドロー (競技本部)
18:00 選手会 (競技本部)
- 第3日目 3月2日(日) (決勝)
- 9:00 競技(3種目)
16:00 成績発表・閉会式 (八方文化会館アリーナ)
16:30 全日本大会出場者の申込手続(八方文化会館アリーナ)

【競技種目】

(予選)

- 大回り 総合斜面・ノーマルパック
- 小回り 総合斜面・ノーマルパック
- 大回り 中急または急斜面・ハードパック

(決勝)

- 小回り 中急または急斜面・ハードパック
- フリー 総合斜面・ノーマルパック
- 小回り 中急または急斜面・ノーマルパック

※斜面状況により、種目の内容および順序を変更することがあります。

※使用斜面については、組織委員会が告知する大会要項でお知らせします。

※公式リザルトは本大会公式ホームページ上にて所定の時間に公開します。

<http://www.hakuba-happo.or.jp/tech>

※公式リザルトは大会公式掲示板にて所定の時間に公開します。

【マテリアルチェック】

- ① マテリアル調査票を、原則として申込書に添付する。提出後の変更は大会競技本部へ再提出をする。
- ② 予選競技出場選手(カテゴリーB)は、マテリアル調査票による確認とスタート時での審判員及び係員の目視によりマテリアルチェックを行う。
- ③ 決勝競技出場選手(カテゴリーA・カテゴリーBの予選通過選手・ジュニア)は、マテリアル調査票による確認と、競技本部でのマテリアルチェックを行う。下記の時間内に審査を受けることとする。

《マテリアルチェック日程》

2月28日(木) 10:00~20:00

2月29日(金) 10:00~20:00

3月1日(土) 6:30~8:30 19:30~21:00

3月2日(日) 6:30~8:30

- ④ マテリアルとはスキー板・靴・締具・ポール・ウェア・手袋・ゴーグル・ヘルメット・帽子等の頭部を保護するものを言い、全日本スキー連盟公式用品参照する。

【参加資格】

参加者は、次の各号に掲げる項目を満たしていなければなりません。

(共通項目)

- ① 日本国籍を有する者。
- ② 当該年度の本連盟会員登録を完了している者。
- ③ 各保険会社の傷害保険に加入している者(未加入者は参加できません)。
- ④ 年齢は、参加申込み時に満18歳以上の者。ただし、ジュニア選手は15歳以上18歳未満とする。
- ⑤ 本連盟バッジテスト1級以上の認定を受けている者。ただし、ジュニア選手は1級程度とする。
- ⑥ 各加盟団体の出場枠は、限定しません。

(カテゴリーAの選手)・・・

- ⑦ 加盟団体が主催する予選会に参加し、予選通過をした者で加盟団体が推薦した者。

(カテゴリーBの選手)・・・

- ⑧ 加盟団体が主催する予選会に参加し、予選通過できなかった者で加盟団体が推薦した者(補欠選手を含む)。
- ⑨ 加盟団体が特別に推薦する者。

【競技方法】

- ① 規制されたコートにおいて、種目内容の演技を競います。
- ② ジュニア選手は、決勝のみとします。
- ③ 競技第1日目は予選とし、カテゴリーBの選手を対象とします。
- ④ 競技第1日目は3種目とし、3審3採用の3審判団で行ないます。班別および班中のローテーションを行ないません。原則として女子班の競技を先に行ないます。
- ⑤ 第1日目の総合成績により、男子100位タイ、女子50位タイまでを第2日目の競技への進出者とします。
- ⑥ 競技第2日目は決勝とし、ジュニア選手、カテゴリーBの予選通過選手及びカテゴリーAの選手(シード選手)により班構成を行い、ローテーションを行ないません。
- ⑦ 競技第2日目は3種目とし、5審3採用の2審判団で行ないます。原則として女子班の競技を先に行ないます。
- ⑧ 全日本スキー技術選手権大会への出場権は、該当する選手の第1日目と第2日目の総合成績により、男子40位タイ、女子20位タイまでに付与します。
- ⑨ 本大会の表彰は、決勝3種目の総合成績により行ないます。

【表彰】

決勝3種目の総合得点によりジュニア男女、シニア男女各10位までを表彰します。

【参加方法】

本大会は、加盟団体の推薦を受けた選手個々の責任において参加していただきます。したがって、加盟団体ごとのチーム対応はいたしませんのでご了承ください。(選手会を開催)

【申込方法】

個人の申込窓口は加盟団体とします。実行委員会から加盟団体に送付する様式に該当事項を記入し、加盟団体の推薦を付してSAJ事務局「第1回テクニカルスキーコンテスト係」あてに一括申込みをしてください。

- ① カテゴリーA及びBの選手で、加盟団体の予選会に出場している選手については予選会の成績を添付
- ② カテゴリーB及びジュニアの選手で、加盟団体の特別推薦により出場を希望する選手については、加盟団体の推薦理由を添付

【参加料】

- ① カテゴリーA、ジュニアの選手1名につき、3,000円
- ② カテゴリーBの選手1名につき、10,000円

加盟団体は、選手の参加料をSAJ指定口座に、申込期日までに納入してください。申込み後の欠場者への参加料返金及び代替者の出場は不可とします。

【申込先】

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
(財)全日本スキー連盟 第1回テクニカルスキーコンテスト係 あて

【申込期限】

2008年2月15日(金)15時必着

【宿舎申込】

宿泊先紹介希望の場合は八方尾根観光協会に問合せの上、各自で手配してください。

TEL 0261-72-3066

【その他】

- ・選手会への出席は、参加選手本人に限ります。
- ・競技規則は、全日本スキー技術選手権大会規則に準じます。
- ・種目順序及び使用コートについては、実行委員会が要項にて告知します。なお、気象条件等により、変更することがありますのでご了承ください。

5, 大会運営組織

【大会役員】

大会会長	伊藤 義郎		
大会副会長	青木 巖	大石 正光	岡山紘一郎
大会顧問	太田 紘熙	小賀坂道邦	細川たかし
	菅 秀文	丸山 庄司	志賀 仁郎
大会委員長	平川 仁彦		
大会委員	池上 三紀	村里 敏彰	笠谷 幸生
	古川 年正	上野 満	林 辰男
	山崎 孝夫	佐藤 昭	早坂毅代司
	菊池 勉	大西 祥平	上治丈太郎
	若月 等	上原 欽次	佐藤 俊平
	矢口 公勝	中村 堅	宮津 久男
	西澤 功	松澤 徹男	渡辺 俊夫
	池田 和良	下川 正剛	窪田徳右衛門
	小林 英雄	太谷 正治	宮尾 幸典
	柏原 孝至	下川 辰男	高橋 賢一
	荒木 貞光		

【組織委員】

委員長	瀬尾 洋		
副委員長	杉崎壽三男	丸山 勝也	
委員	五十嶋博文	小林 俊勝	山田 隆
	梅津 輝雄	丸山 星郎	田中 武敏
	丸山 仁也	杉山 茂実	太谷 陽一
	横川 和彦	横川 宗幸	宮津 久男

【実行委員】

実行委員長	田中 武敏		
委員	杉山 茂実	丸山 仁也	丸山 勝也
	丸山 直樹	中村 昌幸	太谷 陽一
	丸山 和博	丸山 忠利	横川 和彦

【競技本部】

伊藤 妙子	丸山 英二
萩野 紘一	宮本 弘美

【競技役員】

技術代表	岸 宏		
TD アシスト	A: 竹村 幸則	B: 栗林 繁幸	
競技委員長	丸山 浩之		
競技副委員長	小林 雅浩		
セクレタリー	伊藤 妙子		
統括審判長	市野 聖治		
審判長	A: 柳橋 泰久	B: 辺見 元孝	C: 川瀬 譲治
スタート審判	専門委員・イクザミネーより選出		
審判員	専門委員・イクザミネーより選出		
競技係長	A: 築山 紀男	B: 下城 弘之	C: 小野 卓二
コート係長	A: 森下 雄大	B: 棚瀬 之浩	C: 小野雄一郎
コート主任	開催地		
スタート係長	開催地		
記録係長	C: 丸山 隆		
記録係	A: 内田 豊	B: 坂田 勝史	
会場設備機材係長	A: 東 一之	B: 西沢 祐介	C: 遠山 仁志
会場設備機材係	開催地		
ギャラリーコントロール	開催地		
放送係	A: 片山 恵	B: 平林 真理	C: 横村 敬子
安全対策係長	開催地		
医事主任	開催地		
広報係長	上田 英之		
広報係	阿部 文善	神戸 敏彦	
総務係長	山崎 仁士		
総務	開催地		

※変更する場合があります。

6, 競技規則

競技規則は、全日本スキー技術選手権大会規則に準じます。

【公式用品用具の使用に関して】

- (1) 選手は本連盟公式用品委員会において認定された用具、用品を使用し、用具・用品に表示される商標及び社名は、本連盟規定によるもの以外は認めません。ただし、本項の規制範囲は、開・閉会式等の公式の場所及び会場内において点呼を受けたときからフィニッシュするまでとします。
- (2) プレートは市販商品の正常な使用法に限ります。改造若しくは複数商品を複合した使用法は認めません。
- (3) 出場する選手が本大会の予選種目から決勝種目まで使用できるスキーは計3台までとします。
- (4) 選手が着用を許されるウェアは市販されている、あるいはルーズフィットなものとし、レーシングスーツ(ワンピース・ツーピース)は認めません。
- (5) 前2項のチェックについては、別途告知します。

【帽子等の着用に関して】

- (1) 競技中は頭部を防護するものを着用しなければなりません。ただし、ヘッドバンドは防護する物とみなします。

【ビブの着用に関して】

- (1) インスペクション等でコート内に入る場合は必ずビブを外側に着用してください。

【スタートの要領に関して】

- (1) 選手は、各種目ともスタート地点に10分前に集合し、スタート審判の点呼を受け、応答しなければなりません。
- (2) 選手は前者の出発後、ただちにスタート位置につき準備を整えます。
- (3) 選手はスタート審判の合図により出発します。ただちに出发しない場合は当該種目を棄権したものとみなします。

【フィニッシュの要項に関して】

- (1) フィニッシュはコート下部の左右にある目印を結ぶフィニッシュラインの通過をもって演技終了とします。

【演技の中断等に関して】

- (1) 演技を中断した場合は、その位置で体勢を整え再スタートします。中断が長引く場合は、統括審判長の指示に従ってください。
- (2) 選手は係員の幫助を受けることができます。
- (3) やむを得ず途中棄権する場合は、その旨を係員に告げ、速やかにコート外に移動してください。この場合は、当該種目の得点は0点としますが、次の種目からの出場権は維持されます。

【コートインスペクションに関して】

- (1) コート設定後のインスペクションは原則としてコート外から行なってください。ただし、必要があるときは、事前に告示、通告し、横滑りによりコート内に入れることがあります。

【抗議に関して】

- (1) 抗議は監督または、コーチが書類を持って、セクレタリーに提出します。ただし、急を要する場合は、当該コートの統括審判長に申し出ることができます。

【その他】

その他必要がある事項は別途定め、選手会に提案し、承認を行なう。